

港新聞の発行目的

まじめに生活し働く区民の立場で
真実を伝え、共に考え、提案し
よりよい港区づくりに貢献する

港新報 MINATO SHIMBUN

地図に残る仕事に情熱!



「伝統のタイル技術を後世に」－家族と力合わせて丁寧で美しい仕事に情熱を燃やす濱田朋大さん(右)=3月30日、鶴見区の現場で父・宗禄さん(左)、叔父・満さん(左)と(右下は兄・泰大さん)

本紙の存続へ カンパの訴え

継続的な広告掲載やカンパに加え、物品・食糧支援、情報提供や投稿、更には本紙代表の副業である代筆への依頼等が存続を支えてくれています。今号の紙面カラー化はそうした激励の結晶として心より感謝申し上げると共に、この状態を維持できるよう引き続くご支援を訴えるものです。

次号は5月10~15日販売

港新聞は港図書館、港区民センター、港区老人福祉センター、弁天町市民学習センター、コンビニ、銭湯、ひまわり、港近隣センター等にも設置しています。

ホームページ（題字の右にアドレス）で本紙バックナンバーの一部をご覧になります。

www.english-test.net

分、つまり仕上げであり、いわば『地図に残る仕事』です。神経も使いますが、誇りも感じ、やり終えた後

技能五輪で金メダル 3代目の誇り、家族と力合わせ 伝統の技術を後世へ

大さん(三八)一級技能士、
それに朋大さんを社員とする典型的な家族経営です

高卒時に愛知県の専門校に宣言。【2面につづく】

した。「こ、これから
カラーで行くわな」「
…」この続きは次号

墨出し（割り付け）をし、ザインなど一から請け負う仕事をあります」と朋大さんは。タイル張りの仕事について語ってくれました。

細かな調整が必要 「大事なのは下地になるモルタルづくり。材料となるセメントの割合を、冬は多めに、夏は少なめに、水質なら多めに、水はけの悪い土質なら少なめに」といって、この日は元請けの設計に沿つての作業でしたが、「丁寧に面に彩つていきました。墨壺と針と糸を使って、それに沿つて下地となるモルタルを鎌で均一に塗りつけ、その上からタイル一枚一枚張り込んでいくのです。それらを「ゴムハンマー」で押さえ、隙間（目地）に目地材を詰め終わると、作業は一段落しました。

ここは鶴見区の住宅建設現場。父や叔父と一緒に腰を下ろし、安全帽と作業着姿で息しているのは濱田朋大さん。タイル工事を主業務とする浜田タイル（株）を怠ると、見栄えや強度は

技能五輪で金メダル 3代目の誇り、家族と力合わせ 伝統の技術を後世へ

（）
がそ部の達成感は格別です
モダンで美しい素材として大正から昭和初期に登場し、日本建築史の一翼を担つてきたタイル。その職人の心と技を受け継ぎ発展させたいとの情熱が、穏やかな表情から湧き出る言葉のはじばし端々に燃えていました。

タイル一色の環境
朋さんは弁天生まれ二十五歳。弁天小、市岡中から市岡高を経て浜田タイルに入社しました。同社は昭和三十三年に祖父が個人創業。高度経済成長による建築ブームを背景に、数人の住み込み職人を抱えながら事業を拡大し、昭和四十六年にな法人化。現在は代表取締役の父・宗禄さん（二級技能士）を中心に、叔父・萬さん（四十九歳）、兄・洋（五十三歳）

技能五輪で墨出し(割り付け)をする濱田朋大さん＝平成21年10月、日立市で

刷代どの位アツブするん?」「×万円ほどかな?」「それだけ広告増えん?」「そら分からん?」「そんな見通しもな、やるんかいな」「うるさー、ええから金やん?」「もんね、来て来い!」てな悶々せりふありました(最後の台はフイクションです)。すれにしても読者の支持を取るために、あつてこそ紙面刷新心より感謝申し上げました。ともあれ限られた人生、金は有效地に使うもしかも時代が進むほど殺伐とし、聖書にあるルマゲドンも現実味を帯びてきた昨今。本当に価値ある事業にならぬことで妻に同意を求める

ストレスぬきます

エネルギー療法

元気
出ますよ~

頸のリンパマッサージも好評です!
(要予約)

骨盤調整

年 前9:00～午後12:30

アルバイト募集

- 年齢・経験不問
- 時給850円～
- 夕方から器具の準備、その他雑用

むし歯予防 インプラント

DENTAL CLINIC TEAM

「君の行く道は希望へと続く」（昭和四十一年『若者たち』）。いつの時代にも若者は世の希望であり地域の宝です。どんな暗い世相でも純粹な心とまっすぐな行動で人々を励ました。今、先の見通せない平成不況の只中で、世のため

タイル張り職人 濱田朋大(さん)(25)(弁天)

地域のため、家族のため自分のために何が出来るのかを探りつつ、懸命に生きる港区の若者たちを追いました。シリーズ第1回は、「地図に残る丁寧で美しい仕事を！」とタイル張り技術に情熱を燃やす一人の青年に、ポートを当てました。

石綿の不安がある人は継続的に肺検診 結核健診

5月8日(火) AM9:30～10:30 肺癌検診

港区保健福祉センターで
X線撮影無料・喀痰検査400円<要予約・40歳以上>
5/7(月)AM10:00～11:30同センターで無料結核健診

詳しくは☎6576-9882港区保健福祉センターへ

「芸のた
めなら」と
女房を泣かし
たのは初代桂
春団治。さし
づめ筆者なら「色のため
に妻を泣かす」ことにな
るのかも…。とはいって
も浮氣する訳ではありま
せん。今号の紙面カラ
化。長年の念願叶えりと
はいえ、決断までには「印